



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 鶴川 裕光 (TEL) 042-772-5231

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	40,311	23.1	2,334	△18.9	2,651	△6.5	1,735	△11.0
2018年3月期第2四半期	32,734	3.0	2,876	△13.5	2,834	△21.0	1,950	△24.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,096百万円(△46.6%) 2018年3月期第2四半期 3,922百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	28.13	28.06
2018年3月期第2四半期	31.61	31.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	115,903	76,058	65.0	1,220.87
2018年3月期	116,108	75,924	64.8	1,219.02

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 75,342百万円 2018年3月期 75,210百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	5.6	6,250	△1.0	6,600	11.3	4,900	2.4	79.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は添付資料9ページ「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	73,647,321株	2018年3月期	73,647,321株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	11,934,887株	2018年3月期	11,950,279株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	61,703,410株	2018年3月期2Q	61,694,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
受注の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済については、先進国、新興国ともに景気拡大局面が続き、国内経済も、個人消費や企業業績が堅調で穏やかに回復している状況ですが、主要国における景気減速懸念、貿易摩擦、金融環境の引き締め、地政学的緊張等、世界経済の成長に対する下振れリスクが高まっている状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内、海外ともに受注が増加し、当第2四半期連結累計期間の受注は前年同期比26.6%増の97,887百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、自動車関連向けプレス機械の堅調な受注と日本リライアンス株式会社の新規連結効果により、44,081百万円（前年同期比0.3%増）となり、受注残高は63,090百万円（前年度末比6.4%増）となりました。売上高は、米州以外での自動車関連向けプレス機械売上の増加や日本リライアンス株式会社等の新規連結効果等により、40,311百万円（前年同期比23.1%増）となりました。利益面では、原価率の上昇等により営業利益が2,334百万円（同18.9%減）となり、経常利益は為替差損益の改善影響等により2,651百万円（同6.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,735百万円（同11.0%減）となりました。

セグメント毎の業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

日本：自動車関連向けプレス機械の売上増加や日本リライアンス株式会社等の新規連結の影響等により、売上高は25,840百万円（前年同期比24.2%増）となったものの、セグメント利益は原価率の上昇等の影響により、1,029百万円（同25.6%減）となりました。

中国：自動車関連向けプレス機械、サービスの売上増加により、売上高は6,033百万円（前年同期比47.5%増）となり、セグメント利益は増収の影響により312百万円（同169.9%増）となりました。

アジア：自動車関連向けプレス機械の売上増加により、売上高は4,615百万円（前年同期比12.4%増）となったものの、セグメント利益は原価率の上昇等により555百万円（同35.1%減）となりました。

米州：自動車関連向けプレス機械、サービスの売上減少等により、売上高は8,547百万円（前年同期比8.5%減）となり、セグメント利益は減収及び原価率の上昇等により367百万円（同47.4%減）となりました。

欧州：自動車関連向け中・大型プレス機械の工事進行基準売上増加等により、売上高は7,442百万円（前年同期比25.0%増）となったものの、セグメント損益は原価率の上昇等により41百万円の損失（前年同期は64百万円のセグメント利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

#### ①財政状態の分析

資産については、当第2四半期連結会計期間末は前年度末に比べて205百万円減少し、115,903百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少1,635百万円、たな卸資産の増加1,731百万円、保険積立金の減少551百万円等であります。

負債は、前年度末に比べて340百万円減少し、39,844百万円となりました。主な要因は、買掛金及び電子記録債務の増加1,185百万円、前受金の減少2,034百万円、その他の流動負債の増加377百万円であります。

純資産は、前年度末に比べて134百万円増加し、76,058百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.0%となりました。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前年度末と比べ924百万円減少し、30,797百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により取得した資金は1,254百万円(前年同期は6,129百万円の収入)となりました。主な要因は、収入として税金等調整前四半期純利益2,505百万円、減価償却費1,060百万円、支出として売上債権の増加1,395百万円、たな卸資産の増加1,276百万円、法人税等の支払額930百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は103百万円(前年同期は1,130百万円の支出)となりました。主な要因は、支出として有形及び無形固定資産の取得995百万円であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は1,961百万円(前年同期は2,598百万円の支出)となりました。主な要因は、支出として配当金の支払額1,951百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

以下の通り2018年5月15日に公表しました2019年3月期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じるとともに、2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

① 2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異（2018年4月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 39,000	百万円 3,400	百万円 3,500	百万円 2,500	円 銭 40.52
今回発表実績値 (B)	40,311	2,334	2,651	1,735	28.13
増減額 (B - A)	1,311	△1,065	△848	△764	—
増減率 (%)	3.4	△31.3	△24.2	△30.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績値 (18年3月期第2四半期)	32,734	2,876	2,834	1,950	31.61

② 2019年3月期通期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 78,000	百万円 6,800	百万円 6,900	百万円 4,900	円 銭 79.42
今回修正予想 (B)	78,000	6,250	6,600	4,900	79.41
増減額 (B - A)	—	△550	△300	—	—
増減率 (%)	—	△8.1	△4.3	—	—
(ご参考) 前期実績値 (18年3月期)	73,856	6,312	5,927	4,786	77.59

③ 業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想修正の理由

売上高につきましては、第2四半期連結累計期間における実績値は概ね当初予想通りで、通期予想も当初予想に変更はありませんが、利益面では、原材料や外注費等のコスト増が想定を超えたことに加え、一部の案件において特殊仕様に対する追加工事等で当初想定を超えるコストが発生したこと等により、第2四半期連結累計期間における実績値が当初予想と乖離するとともに、通期予想についても当初予想を下方修正致しました。尚、第2四半期連結累計期間における実績値が当初予想と乖離したことについては、上記の要因に加え、粗利率の高い案件の売上計上が下期にずれ込んだことも影響しております。

通期の当期純利益予想は当初予想に変更なく、配当についても1株当たり30円を予想しております。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,163	31,527
受取手形及び売掛金	22,444	23,273
電子記録債権	2,485	1,344
製品	2,312	3,130
仕掛品	11,038	11,831
原材料及び貯蔵品	4,014	4,135
その他	3,158	3,137
貸倒引当金	△226	△227
流動資産合計	78,390	78,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,664	25,103
減価償却累計額	△16,106	△16,367
建物及び構築物（純額）	8,558	8,735
機械装置及び運搬具	16,326	16,840
減価償却累計額	△9,579	△10,080
機械装置及び運搬具（純額）	6,746	6,760
土地	7,140	7,080
建設仮勘定	362	624
その他	3,535	3,531
減価償却累計額	△2,894	△2,933
その他（純額）	641	598
有形固定資産合計	23,449	23,799
無形固定資産	927	847
投資その他の資産		
投資有価証券	8,734	9,063
保険積立金	2,943	2,392
退職給付に係る資産	795	811
繰延税金資産	708	666
その他	195	201
貸倒引当金	△36	△32
投資その他の資産合計	13,340	13,102
固定資産合計	37,718	37,748
資産合計	116,108	115,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,374	7,501
電子記録債務	4,600	5,658
短期借入金	2,611	2,643
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,065	1,468
未払法人税等	1,156	859
前受金	11,745	9,710
製品保証引当金	717	654
賞与引当金	1,214	1,098
役員賞与引当金	52	44
受注損失引当金	105	119
その他	2,055	2,432
流動負債合計	33,198	32,690
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	820	833
繰延税金負債	3,039	3,168
株式給付引当金	344	392
退職給付に係る負債	1,461	1,447
その他	319	311
固定負債合計	6,985	7,153
負債合計	40,184	39,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,486	12,489
利益剰余金	54,000	53,781
自己株式	△5,222	△5,215
株主資本合計	69,095	68,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,930	5,158
繰延ヘッジ損益	26	△73
為替換算調整勘定	734	969
退職給付に係る調整累計額	423	400
その他の包括利益累計額合計	6,114	6,455
新株予約権	148	139
非支配株主持分	566	576
純資産合計	75,924	76,058
負債純資産合計	116,108	115,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	32,734	40,311
売上原価	25,353	33,214
売上総利益	7,381	7,097
販売費及び一般管理費	4,504	4,762
営業利益	2,876	2,334
営業外収益		
受取利息	38	51
受取配当金	74	103
養老保険満期償還益	28	12
保険解約返戻金	—	166
その他	88	64
営業外収益合計	229	398
営業外費用		
支払利息	23	17
為替差損	208	20
その他	39	43
営業外費用合計	271	81
経常利益	2,834	2,651
特別利益		
固定資産売却益	1	20
その他	0	—
特別利益合計	1	20
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	161
その他	—	4
特別損失合計	4	166
税金等調整前四半期純利益	2,832	2,505
法人税等合計	881	749
四半期純利益	1,950	1,756
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,950	1,735



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,950	1,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	845	227
繰延ヘッジ損益	△122	△99
為替換算調整勘定	1,250	234
退職給付に係る調整額	△0	△22
その他の包括利益合計	1,972	340
四半期包括利益	3,922	2,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,922	2,075
非支配株主に係る四半期包括利益	—	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,832	2,505
減価償却費	983	1,060
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	△13
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4	△74
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	△126
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△8
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△42	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	△16
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△58	△45
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	18	47
受取利息及び受取配当金	△113	△154
支払利息	23	17
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△19
固定資産除却損	4	161
売上債権の増減額 (△は増加)	3,603	△1,395
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,456	△1,276
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,304	959
その他の資産の増減額 (△は増加)	898	168
その他の負債の増減額 (△は減少)	246	217
その他	△486	29
小計	6,721	2,047
利息及び配当金の受取額	113	154
利息の支払額	△25	△17
法人税等の支払額	△679	△930
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,129	1,254
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,514	△28
定期預金の払戻による収入	1,327	798
有形固定資産の取得による支出	△907	△969
有形固定資産の売却による収入	1	122
無形固定資産の取得による支出	△39	△25
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,130	△103
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,596	△1,951
非支配株主への配当金の支払額	—	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,598	△1,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	866	△112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,266	△924
現金及び現金同等物の期首残高	25,572	31,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,838	30,797

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	12,374	3,875	1,931	9,124	5,428	32,734	—	32,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,426	215	2,174	216	527	11,560	△11,560	—
計	20,801	4,091	4,106	9,340	5,956	44,295	△11,560	32,734
セグメント利益	1,383	115	855	699	64	3,118	△241	2,876

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	16,767	5,611	2,316	8,368	7,248	40,311	—	40,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,073	422	2,298	179	193	12,167	△12,167	—
計	25,840	6,033	4,615	8,547	7,442	52,479	△12,167	40,311
セグメント利益又は損失 (△)	1,029	312	555	367	△41	2,223	110	2,334

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。従来「アジア」セグメントに計上していた中国事業を「中国」セグメントに、日本及び中国を除くアジア事業を「アジア」セグメントに区分して記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

### 3. 補足情報

#### 受注の状況

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（％）	金額（百万円）	前年度末増減率（％）
日本	21,117	25.8	28,771	17.8
中国	5,547	△26.6	10,524	△0.6
アジア	3,090	37.5	3,185	32.1
米州	7,210	△30.6	10,043	△10.3
欧州	7,116	2.2	10,565	△1.2
合計	44,081	0.3	63,090	6.4

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。